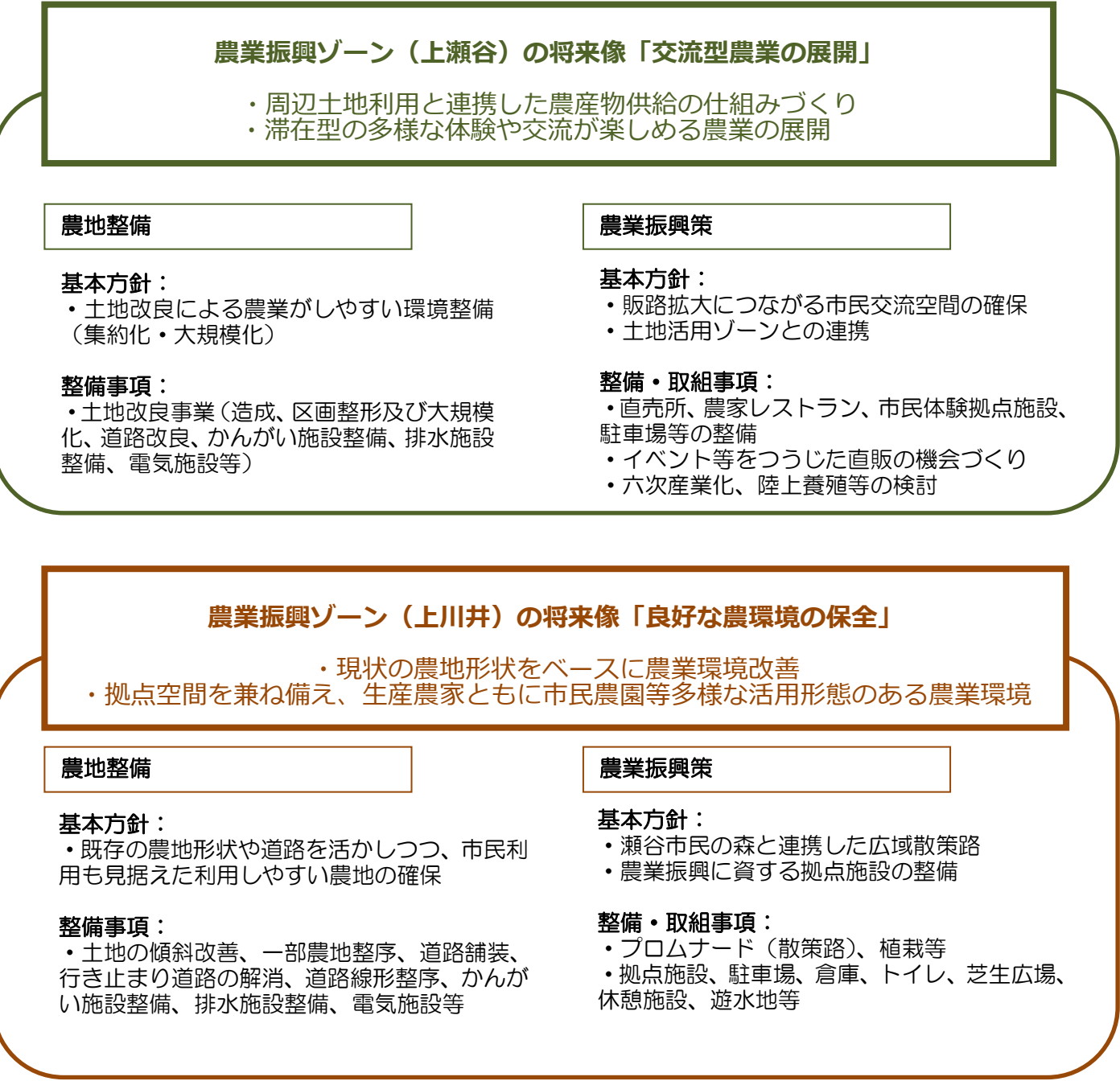


勉強会（農業振興・土地活用）の成果について

平成 29 年度上半期は、地域の魅力や課題などの基本的事項の共有や、地権者の皆様が考える旧上瀬谷通信施設の将来像について勉強会を行いました。

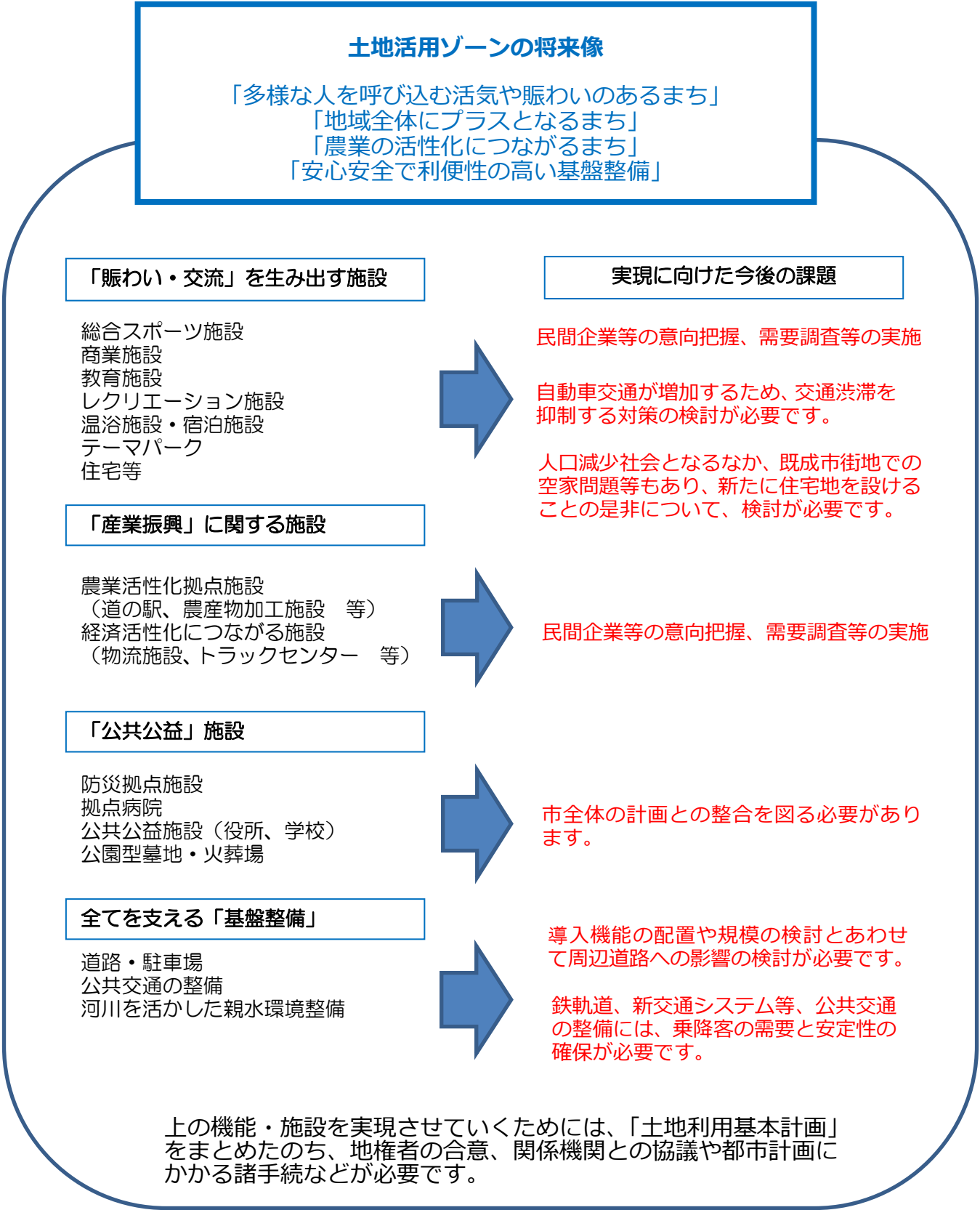
1 勉強会（農業振興）

農業振興勉強会では、現状の農業環境の課題や改善要望など、各地権者の意見を共有するとともに、農業振興ゾーンの将来像について、地権者の皆様の意見や考えをまとめました。



2 勉強会（土地活用）

土地活用勉強会では、地域の魅力と課題について、各地権者の意見を共有するとともに、土地活用ゾーンの将来像について、地権者の皆様の意見や考えをまとめました。



旧上瀬谷通信施設の土地利用検討

1 検討の方向性（H29.3 説明会）

引き続き民有地の地権者の皆様と、農業振興の検討や、土地活用は「活力創造」「公共・公益」という要素で分けて、具体的な機能・施設の検討を進め、郊外部の再生に資する新たな活性化拠点の形成について考えていきます。

跡地利用指針(H18)による方向性
・持続的で魅力ある都市農業の振興
・「緑」を享受する首都圏郊外の自然レクリエーション空間
・広域の防災活動拠点・広域機能の立地
・交通利便性の向上に資する基盤整備

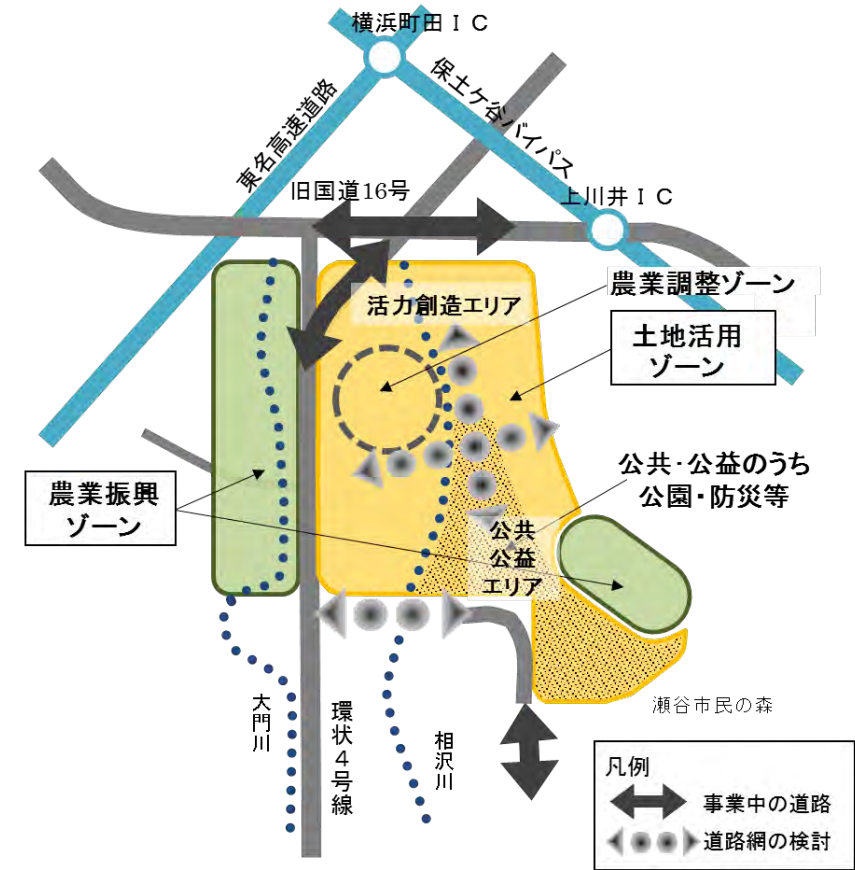
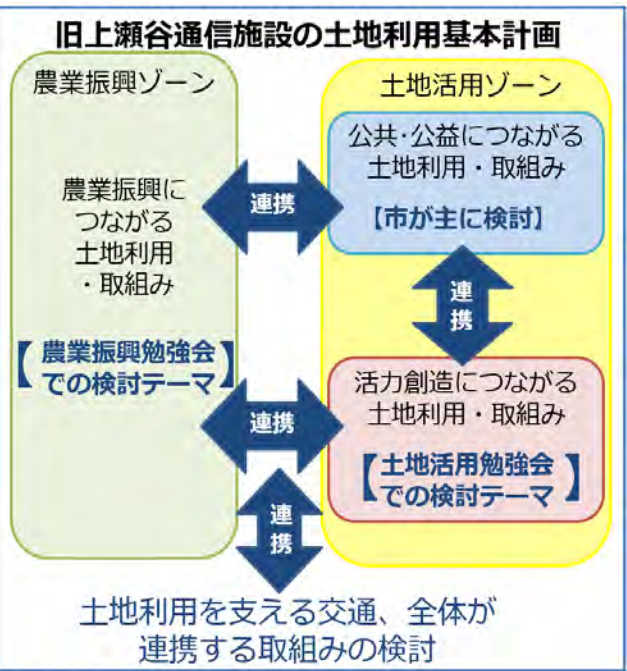
新たな視点による方向性
・本市を含む広域的な課題解決や多様な市民ニーズに対応できる市街地を形成

要素	意味
農業振興	活力ある都市農業の展開
土地活用	活力創造 産業振興、賑いや交流を促進 (主に民有地で、民間が参入する施設を想定)
	公共・公益 本市を含む広域的課題や地域の課題を解決 (主に国有地で、公共・公益的性質のある施設を想定)

2 29 年度上半期の検討内容

【跡地利用ゾーン(案)】

土地活用ゾーンのうち公園・防災等のおおよその位置を表示した例



(1) 農業振興ゾーン

【勉強会での検討】

28 年度に引き続き、勉強会で地権者の皆様と検討を進め、地権者の皆様が考える農業振興ゾーンの将来像や、基盤整備・農業振興策の方向性についてまとめました。

【本市の考え】

勉強会でまとめた方向性などもふまえ、土地活用ゾーンとの連携等も視野に入れながら、実現に向けた検討を行っています。今後も引き続き、地権者の皆様と検討を進めていきます。

(2) 土地活用ゾーン（民有地を中心とした「活力創造」エリア）

【勉強会での検討】

今年度の勉強会は、地域の魅力や課題を抽出し、新たな賑いや交流、産業の誘致など地域の将来像について話し合いました。その中で、活力創造エリア内の農業利用について、農業振興ゾーンとの連携を図れるような施設や機能の整備に関する御意見等をいただいています。

【本市の考え】

今後、地域の農業振興に寄与する施設・機能の配置検討を進めていきます。

また、都市的土地利用を進めるには、道路や上下水道等のインフラ整備を一体的に進める必要があります。そのため、まちづくりの手法等について地権者の皆様と引き続き検討をすすめていきます。

(3) 土地活用ゾーン（国有地を中心とした「公共・公益」エリア）

【勉強会での検討】

防災機能、公園のほか、病院・福祉施設、教育機関、墓地等の必要性や課題に関する御意見をいただきました。

【本市の考え】

市民の賑いの場の創出、震災への備え、少子高齢化への対応など、公共的要素をもつ公園、防災、公園型墓園等について検討を進めています。

なお、公園については、瀬谷市民の森等の緑から連なる国有地を中心に、大規模なものの配置を想定しています。（国際園芸博覧会開催時点には、メイン会場として活用することも想定）

(4) 土地利用を支える交通

【勉強会での検討】

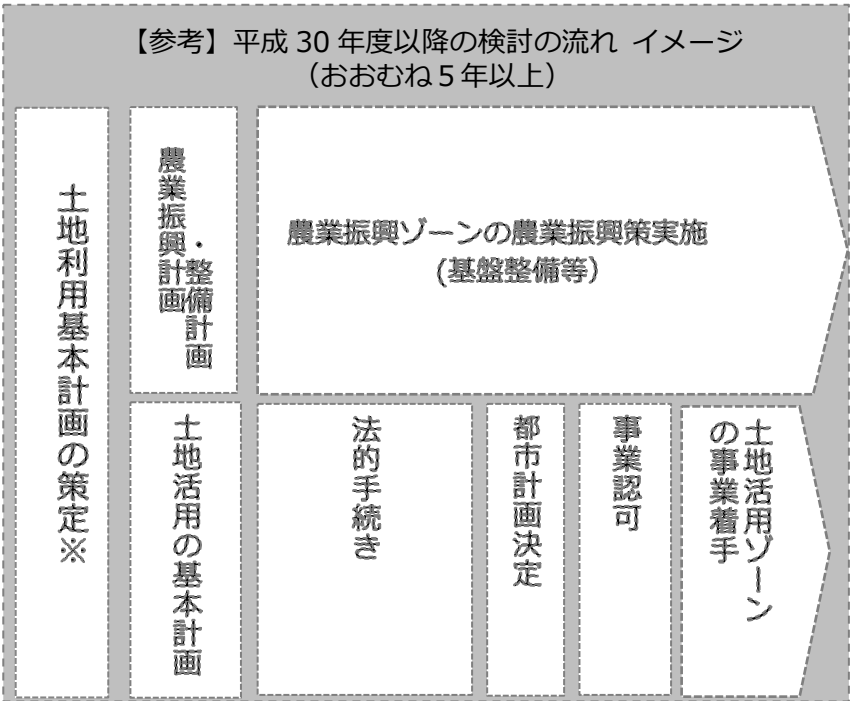
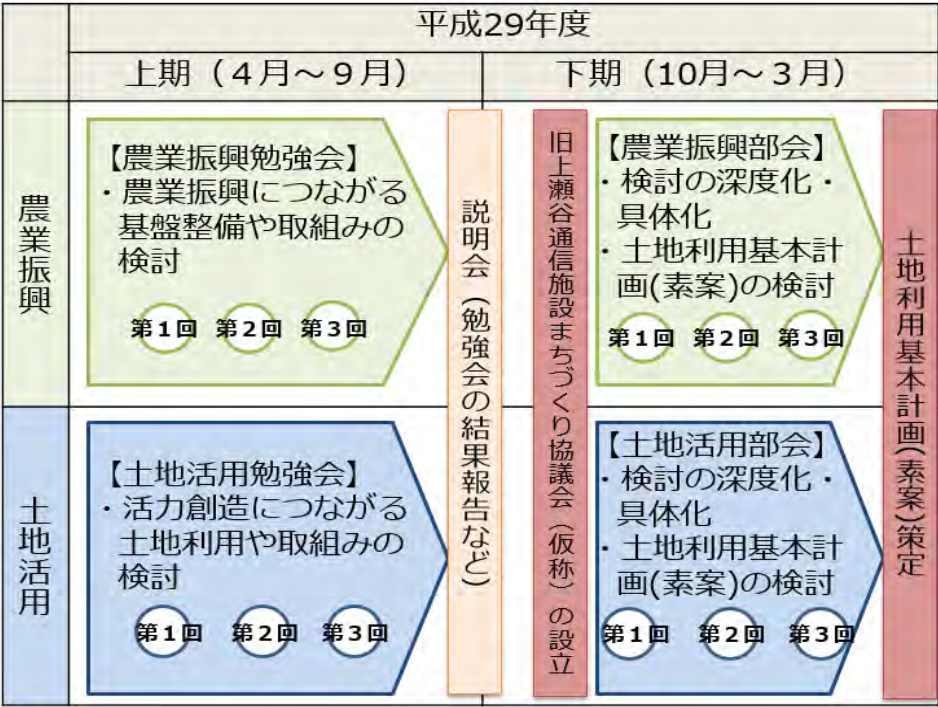
地域内や地域へのアクセス向上についてのご意見をいただきました。

【本市の考え】

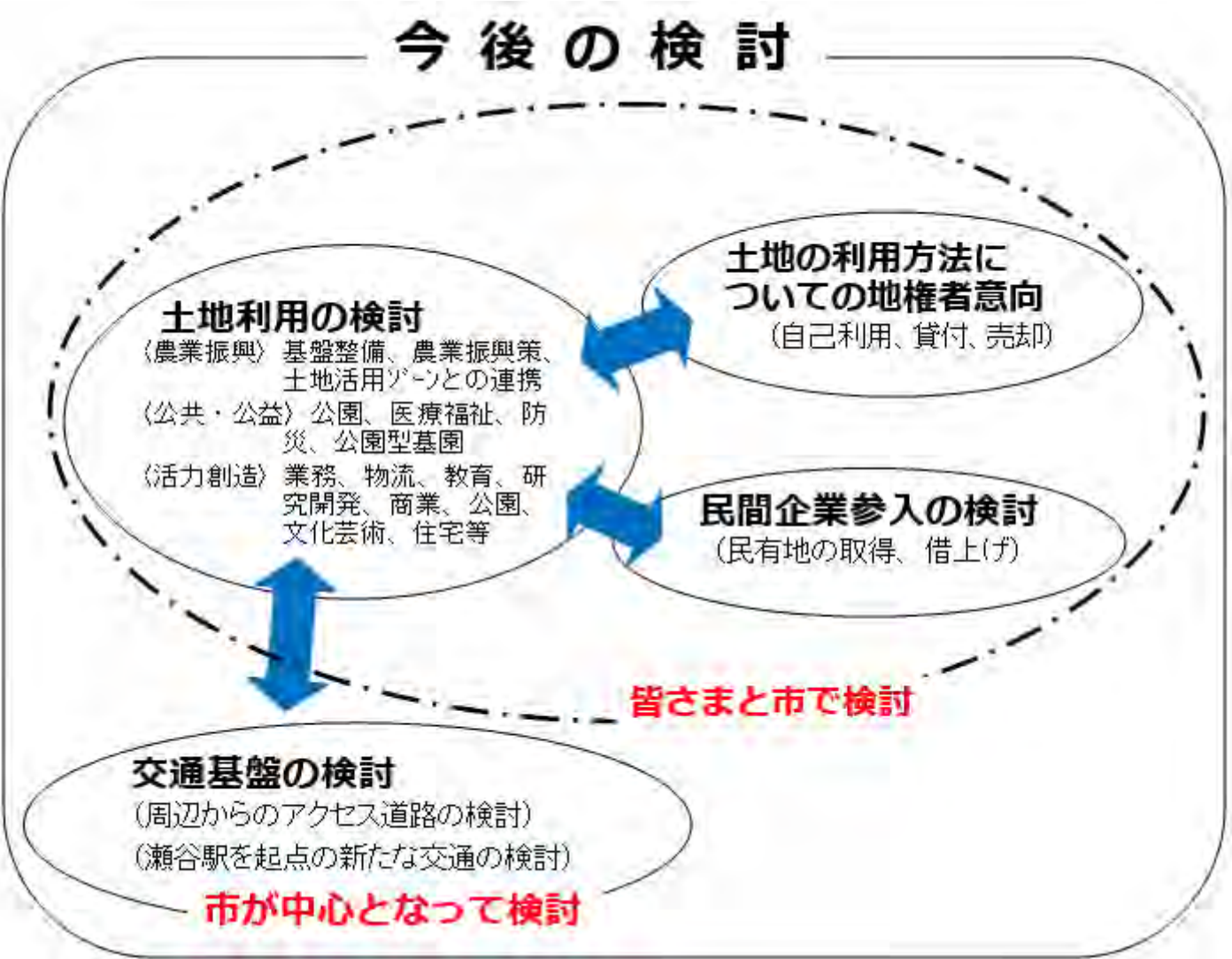
将来の土地利用検討を踏まえ、周辺から跡地へのアクセスの検討をすすめています。また瀬谷駅等を起点とした新たな交通についても、アクセス道路との整合や事業採算性等を考慮し、検討を進めます。

3 今後の進め方（29 年度下半期）

- ・「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会(仮称)」の設立を受け、これまで地元の皆様と検討を重ねてきた勉強会の成果をふまえた「土地利用基本計画(素案)」のたたき台を、皆様にお示しします。
- ・このたたき台をもとに、「旧上瀬谷通信施設まちづくり協議会(仮称)」の皆様と、さらに土地利用の具体的な検討をすすめてまいります。
- ・目標としましては、30 年3月末には「土地利用基本計画(素案)」をまとめたいと考えています。



※旧上瀬谷通信施設全体で目指す土地
利用の基本的な考えをまとめたもの



旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会の招致検討について

1 概要

平成 27 年 6 月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設において、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、更には国内外の先導的なまちづくり等に寄与する、国際園芸博覧会の招致検討を進めています。

このため、本年 6 月には「旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会設置条例」に基づき有識者からなる委員会を設置し、これまでに 3 回の委員会を開催しています。

29 年度は 5 ～ 6 回程度の開催を予定しており、地権者の皆様をはじめ市民・企業の皆様、市会、有識者、関係機関等のご意見を伺いながら、横浜市としての基本構想案を策定し、開催主体となる国に早期に正式要請していきたいと考えています。

2 審議事項等

第 1 回から第 4 回の委員会では、主に開催意義・テーマ、会場の考え方、事業展開等について、過去の事例や現状を把握した上で、横浜で開催するにあたっての視点等についてご審議いただきました。また、第 2 回委員会では現地視察を行っています。

【参考】国際園芸博覧会招致検討委員会 平成 29 年度スケジュール

- ・第 1 回（6/5）：現状把握、検討の視点
- ・第 2 回（7/10）：開催意義、基本事項等
- ・第 3 回（8/24）：事業展開、会場・行催事、関連事業
- ・第 4 回（9/27）：開催意義、基本事項等、事業展開、会場・行催事、関連事業
- ・第 5 回（11/2 予定）：基本構想【素案】として各項目をとりまとめ
- ・第 6 回（未定）：基本構想【横浜市案】として各項目をとりまとめ

第 5 回でとりまとめた基本構想【素案】を基本として市民意見募集を行います。

※資料や議事録はホームページで公開しています。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/engeihaku/iinkai.html>

旧上瀬谷通信施設における国際園芸博覧会招致検討委員会

委員

計 14 名（五十音順、敬称略）

氏 名	現 職 等
池田 典義	横浜商工会議所 副会頭
岸井 隆幸	日本大学 理工学部教授
隈 研吾	東京大学 大学院 工学系研究科教授
坂井 文	東京都市大学 都市生活学部教授
坂田 宏	株式会社サカタのタネ 代表取締役社長
須磨 佳津江	キャスター・ジャーナリスト
福岡 孝則	東京農業大学 地域環境科学部准教授
水谷 初子	株式会社 J T B グローバルマーケティング&トラベル執行役員
三輪 律江	横浜市立大学 学術院 国際総合科学群准教授
保井 美樹	法政大学 現代福祉学部・人間社会研究科教授
若松 浩文	株式会社ランド 代表取締役
涌井 雅之	東京都市大学 特別教授
和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 副会長
渡辺 真理	アナウンサー

関係者（オブザーバー）

氏 名	現 職 等
農林水産省	生産局 園芸作物課長
国土交通省	都市局 公園緑地・景観課長